

会 議	令和7年度（第1回）洛西ふれあいの里更生園 地域連携推進会議 会議録
開催日時	令和7年11月18日（木） 時間：14：00～15：30
開催場所	授産園新棟ふれあいルーム
構成員	A氏（ご利用者） B氏（ご利用者家族） C氏（ご利用者家族） D氏（ご利用者家族） E氏（地域の関係者：桂坂児童委員協議会） F氏（市町村担当者：洛西支所 ケースワーカー） 土居 雅幸（施設長） 公庄 貴則（副施設長） 大谷 和明（支援係主任）
議題・内容	<p>1) 地域連携推進会議について 会議の目的・内容・期待される効果について 施設長より説明する。</p> <p>2) 会議の構成員について 施設長より、構成員について説明があった後、自己紹介をしていただく。 E氏…支援学校の運営協議会を通して、施設長と繋がり、お声かけをいただいて今回、参加させていただくことになりました。 F氏…洛西支所で、主に身体・知的障害がある方の手帳交付手続きを担当しています。障害のある方の暮らしについて一緒に考える機会となればと思います。 B氏…ふれあいの里には平成14年からお世話になっております。手のかかる子どもを預かってもらっています。 C氏…ふれあいの里には開所時（平成4年）からお世話になっております。とても手がかかる子どもでしたが、現在はその頃と比べて落ち着いてきました。 A氏…自己紹介、「よろしく願います」と挨拶をされていました。</p> <p>以下、別紙資料をもとに、施設長、主任より 説明をさせていただいた。</p> <p>3) 令和7年度「洛西ふれあいの里更生園 重点方針について」 ・「令和7年度 権利擁護・虐待防止行動計画」 意思決定支援のあり方に関する学習会 地域移行等に関する意向確認についての意見交換会の実施 ・自閉症委員会の取り組み 外部講師を招いたコンサルテーションの実施内容について報告 ・洛西整備事業（第3期工事） 独立したユニット型居住空間の整備状況 日中活動室の再生備について</p> <p>4) 洛西ふれあいの里更生園の会議や委員会の取り組みについて ・各会議（運営、男性、女性生活棟会議）について 会議のメンバー、開催頻度、主な議題について</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会の取り組みについて (健康管理・感染予防員会、虐待防止委員会、リスク委員会など) 感染防止対策の取り組み、虐待防止研修、事故に対する検証、再発防止などの取り組みについて報告する 5) 日中活動の様子について <ul style="list-style-type: none"> ・施設外活動（じゃんぷ、HOP）について 利用者数、活動内容について ・施設内活動（すてっぷ、とことこ）について 利用者数、活動内容について ・他事業所への通所状況 6) 地域との交流について <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自治会の夏まつりへの参加 ・オータムフェスタへの参画 ・ポッチャ大会への参加 など
その他	<p>◎各構成員からご利用者への質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お仕事は何を⇒更生園の作業室で、編み物やペットボトルキャップの仕分け作業をしている。 ・一人部屋ですか⇒一人部屋、他の人は二人部屋の人もある。 ・おいくつ？⇒わからん。 ・困ったことはあるか⇒自分の欲しいものを（職員がすぐに）買ってきてくれない。 ・楽しいことは？⇒皆と一緒にいて、話をしている時が楽しい。 ・やってみたいことは？⇒今までやってきたことを、これからも続けていきたい。 ・施設内は車いすで移動できる？⇒自分で移動はできる。段差も少ないし困っていない。部屋の中や慣れたところは歩いている。 <p>施設長：施設自体が身体障害者向きではない作りなので、高齢化への対応が今後の課題となっている。</p> <p>B氏：しっかりされていますね。言葉で会話ができる方は少ないのではないですか？</p> <p>施設長：ここまでしっかりと話しされる方は少ないです。Aさんは、かつてはバスを利用して園外の活動場所に通っておられた。箱折りの下請け作業もされていた方で、更生園に入所される前は通勤寮という施設におられた。</p> <p>【ご利用者がどのように暮らしたいと思っているか、ご家族の考え】</p> <p>C氏：「おうち」と口にするので、家に帰りたいと思っているのだと思うが、園に戻ることも気にしている。家に帰って一通りのルーティンを済ませると、「園に戻る」と口にする。本人はどこまで理解していて、何を望んでいるかわからないことがあります。</p> <p>D氏：私は偉そうなことは言えません。家では妻がほとんどのことを見てくれてますし、施設の皆さんにも頼りきりです。</p>

	<p>B氏：ふれあいの里がある地域は福祉に力を入れておられ、障害を持つ子供がおられる方が桂坂に引っ越してくるケースも多かった。私も入所を期待して引っ越してきました。今でもそのようなケースがあり必要とされているのだと思います。</p> <p>F氏：お話を聞いていて、地域と施設とのつながりを感じました。感染症のリスクがあり、外部とのつながりが難しくなっている中でも、しっかりと交流があることは素敵なことだと思いました。</p> <p>E氏：自治会には入っていますか？</p> <p>➡現在は、地域のお祭りなど、声をかけてもらったら参加している。(施設長)</p> <p>民生児童員として活動しているが、地域で暮らしている方の把握ができていなかったことを反省しています。昨年、「桂坂米寿の会」を開催しました。桂坂にお住いの米寿を迎えられる方にお声をかけてお祝いをしました。更生園の利用者の方もおられたら一緒にお祝いをできたらと思います。更生園とはお祭りや行事などでは交流があったが、これからは日常生活の中での交流も必要であると思っています。以前は、障害のある方とご家族の支援や交流を目的としたサークルの活動があったが、コロナ禍もあって徐々に活動がなくなり、知らない間にわからなくなっている。桂坂も高齢化が進み、機動力も落ちてきているが、これまであった繋がりや活動を再び広げ、良い形にしていければと思います。地域の方からバスの乗車時の対応など、障害者に対する対応が良くないのでその声も聴くので、改善に取り組み意識改革に努めていきます。これからもよろしくお願いします。</p>
見学	参加者（利用者除く）、居室、食堂、作業場、改修工事中のSS居室、ユニットの見学している。